



校長便り 第13号

来年も楽しみにしています！



たくさんお芋が採れました【1・2年生】

11月27日(木)の午前中、地域のNishioka, H.さんの支援のもと、1・2年生が芋ほりをしました。夏の猛暑と虫に葉をたくさん食べられたためか、今年の収穫を大変心配していましたが、食べやすいサイズのお芋がたくさん採れました。Nさんが、畝起こしを農機でしてくださったので、1時間程度で終わることができました。ありがとうございました。



今年も楽しかったマリンバ・コンサート

28日(金)の午前中、川北サロンの高齢者や地域の方々と一緒に、本校体育館でマリンバ・コンサートを楽しみました。今年はマリンバと琴によるアンサンブル【春の海：お正月の定番曲、浜辺の歌など】、マリンバとコントラバスによるアンサンブル【トルコ行進曲、日本の歌メドレーなど】、Kファミリーバンドによる歌と演奏【泳げたいやきくん、ライラック、偽物勇者など】を1時間余り披露してくれました。本校の卒業生でもあるKomatsu, H.さんは、最初から最後まで、マリンバを演奏してくれました。圧巻だったのは、偽物勇者の演奏と歌です。歌いながらカホン（パー生まれの打楽器）を叩いたり、マリンバを叩いたりとブラボーでした。今年は、子どもたちが普段あまり見たり、聴いたりすることがない琴やコントラバスの演奏を生で見て、聞いて、体感することができ、本当によかったと思います。HさんをはじめKファミリーのみなさん本当に楽しい時間をありがとうございました。



引渡訓練へのご協力 ありがとうございました

29日(土)は防災参観日でした。5時間目に各学年で防災に関する授業を行いました。その後、参観されていた保護者のみなさんと一緒に、避難訓練【大地震・

大津波】を行い、キセキレイの里まで避難しました。子どもたちは、学校を出てから13分程度で避難完了しました。続いて、引渡訓練を行いました。今のところ大津波警報が発令された場合、キセキレイの里への避難を考えていますが、状況によっては西ノ島の避難タワーということも考えられます。電柱の倒壊や液状化なども想定されますので、様々なケースを想定して避難訓練を実施していきたいと思います。



ふわふわ言葉を増やしましょう！

「ふわふわ言葉」とは、言われると心が温かくなり、うれしい気持ちになる言葉です。「ありがとう」「すごいね」「大丈夫？」などが代表的です。これらの言葉は、相手を思いやる気持ちを育み、人間関係を良好にする効果があると言われています。

一方、「チクチク言葉」は、相手の心を傷つけたり、嫌な気持ちにさせたりする言葉です。例としては、「バカ」「アホ」「ウザい」「消えろ」などがあります。このような言葉を、日常的に使われている学級や家庭は、要注意だと思います。

それでは、ふわふわ言葉の例をいくつか示しますので、学校や家庭で気にかけて使うことができるようにお願いします。

○感謝：ありがとう、サンキュー！、○○してくれてありがとう、いつもすまんねえ etc

○励まし・称賛：上手だね、うまいね、すごいね、頑張ってるよね、よくやったね、ナイス！ etc

○思いやり・共感：大好き！、やさしいね、良かったね、大丈夫？、一緒にしよう？ etc

○誘い・挨拶：いっしょに遊ぼう(行ってみない)、おはよう、また明日ね、元気やった etc

ふわふわ言葉を使うことで、自分も相手も幸せな気持ちになり、自己肯定感も高まります。また、相手を思いやる気持ちが育ち、コミュニケーションが円滑になるとも言われます。言う側も言われる側も元気になり、ポジティブな感情が生まれますので、意識して使うことを心がけてほしいと思います。